

「氷見市公共施設等最適化基本方針（案）」に対する意見募集（パブリックコメント）について

1 意見募集期間 平成28年2月18日（木）～3月16日（水）

2 意見及び提案の内容、対応について

番号	意見及び提案の内容	対応
1	<p>公共施設をつくる上での思考ポイント</p> <p>①ともすると施設建設そのものが目的化されてきた</p> <p>②目的別サービス＝目的別施設ではない</p> <p>③「多様化・高度化する住民ニーズにこたえる」というお題目だけになっていないか</p> <p>④縦割り行政、立場立場の利益追求に終始していないか</p> <p>⑤慣例、慣行、言われた通り、思考停止になっていないか</p> <p>⑥今ある施設・インフラの責任は、1－市民、2－市長、3－市議会議員、4－市職員 猛反省してから始めるべき</p>	<p>これまでの公共施設等は、国が推進する政策に基づき、その目的別に整備されてきた傾向が強いです。今後、人口減少や歳入の大幅な減少が見込まれる中、持続可能な社会を実現するためにも、市民ニーズを正確に把握し、施設等の必要性や将来に渡る財政負担などを十分に調査・検討した上で、施設等の整備について決定していきます。</p>
2	<p>具体的実施の基本</p> <p>①少なくとも現状より増やさない</p> <p>②新設は原則、当面行わない</p> <p>③不要なものは、思い切って減らす（廃棄、売却、転用など）</p> <p>④減らす基準は利用率50%未満</p> <p>⑤「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進 子育て環境など公共施設的最適化が求められるものもあるが、原則、改修するなどして既存の施設を利用する やむなく新設の場合は、相当する現施設を減らす</p> <p>⑥現施設、インフラの棚卸 利用率、管理運営状況、コスト、管理者</p>	<p>今後の施設整備については、「第3章 3取組姿勢」及び「同 4基本目標」を基礎としながら、「同 5再配置・機能維持方策」に基づき実施します。なお、個別施設の方向性については、「同 7取組の具体化」における「分野別方針」に基づき、必要性等について十分検討の上、決定していきます。</p>
3	<p>インフラ、公共施設の整備・設置の基準を明確にする（変える）。 今あるものを新基準にかなうようにしていく。現状維持、廃棄、再配置、利用（使用）方法、内容の変更。</p>	
4	<p>公民館と学校施設と老人福祉センターの一体化による複合施設へ</p> <p><公民館></p> <p>地域住民に密着した社会教育・生涯学習施設 地域住民の意思疎通・協働など地域活動の拠点</p> <p>●課題 利用率低下、自治体活動の弱体化、耐震対策遅れ</p> <p><学校施設></p> <p>体育館・図書館・プールなどの多様な設備のある学校教育施設</p> <p>●課題 少子化による廃校は今後も進む、災害時の避難施設利用</p> <p><老人福祉センター></p> <p>「健康的で介護等の必要がない60歳以上の方」の福祉施設</p> <p>●課題 超高齢化社会、要介護者激増など 慰労・娯楽施設だけでなく、健康維持、機能回復などを重点とした施設が求められている。</p>	<p>「第3章 5再配置・機能維持方策」にて、多機能・複合化や統廃合を推進することとしています。既存施設の複合化について、民間施設等の活用も視野に入れながら検討するとともに、将来に渡り、機能の集約が可能となる施設整備を行います。</p>

番号	意見及び提案の内容	対応
5	”必要かもしれない防災施設”はいらない。発生してみないと被害は分からない。発生時の状況にあった迅速的確な対応。	災害時の避難場所の確保に配慮しながら、公共施設の最適化を図ります。また、災害時には、道路や上下水道などのライフラインの確保が重要であることから、「第3章 5再配置・機能維持方策」に基づき、適切な管理・更新を実施します。
6	市民アンケートの結果は、本質をとらえているとは思えない。	今後、個別施設の方向性を決定するにあたっては、市民ニーズの把握に努めます。
7	すべて数値で目標を。「利用期待度」、「氷見らしさ」、「便利さ」なども。	本基本方針は個別施設の方向性を検討する上での基本的な考え方を定めたものであり、「堅持すべき財政指標」（最低限守るべき目標数値）以外では数値（目標）の設定を行っていません。今後、個別施設の方向性を決定するにあたっては、施設等の「社会的寿命」を考慮しつつ、将来期待できる利用者数などを想定した上で、その必要性について検討・決定を行います。
8	「人口が減少し、高齢者単身世帯が増え、マイカー移動ができない人が増えても、現状のサービスは維持します」は、違うのではないか。「人口減少に合わせ、公共施設を減らす、2世帯3世帯同居を増やす、公共交通を増やし、市民にその負担を担ってもらう」などではないか。	現状の公共サービスや施設（保有）の必要性については、「第3章 4基本目標 ウ.公共施設等の必要性の検証」に基づき、その検証を行います。
9	<p>（「公共施設等の整備規模の適正化」に関して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設等の整備にあたっては地方債の活用が不可欠」という考えを改めるべきでは。 ・返済能力を見極めた借入を。 ・民間手法、複式簿記 	公共施設等の整備にあたって地方債（借入金）を活用することがありますが、その活用効果としては、公共施設等の整備に係る住民負担を世代間で公平に調整できることや、その償還（返済）にあたって国から財源が交付される場合があることなどです。しかしながら、地方債残高の増加は、将来の市民サービスの低下を招く恐れがあります。目標数値を維持するためにも、ご提案いただいたとおりに、返済能力に見合った借入に留め、財政の健全化に努めます。また、現在、複式簿記の導入に向け、市有財産の棚卸し作業を進めており、それらも公共施設等のマネジメントに活用することとしています。
10	<p>（施設の新設の要望）</p> <p>「利用率を高める為、男女問わず全天候対応かつ昼夜の利用可能なスポーツ施設」</p> <p>朝：ゲートボール・カローリングなど、高齢者が利用できる設備</p> <p>昼・夕：学生のスポーツ活動に利用できる施設</p> <p>夜：社会人がスポーツ活動に利用できる施設</p>	「第3章 5再配置・機能維持方策」にて、多機能・複合化や統廃合を推進することとしています。これまでは、ひとつの目的のためにひとつの公共施設が建設される傾向がありましたが、施設の管理運営経費を抑制するためにも、施設の多機能・複合化を推進し、利用率の向上を図る必要があります。また、利用率の向上のためには、施設の魅力向上も重要な要素となることから、スポーツ施設に限らず、ご提案いただきました合宿の開催地としての施設など、様々な分野に渡る施設の多機能・複合化を検討していきます。
11	<p>（施設の新設の要望）</p> <p>「人口減少を考慮した上で利用者を増やす施設」</p> <p>知名度の高い・使ってみたい、とんでもなく魅力的な施設を作って利用者（率）を80%くらいにする。使ったことで自慢できるような施設を作って、大学等の合宿の開催地として利用者を増やしたい。</p>	

番号	意見及び提案の内容	対応
12	<p>(施設の新設の要望) 「将来を見据えたスポーツ施設」 競技人口の増加が見込めるスポーツ施設。健康を維持し、医療費の削減に繋がる施設。老若男女問わずに出来るスポーツ施設が新設されれば、子供の頃に始めたスポーツを生涯続ける事により、競技人口の維持・増加を見込める為、長く使用する施設になる。</p>	<p>「第3章 3取組姿勢」にて、「多世代の利用」を推進することとしています。様々な世代の方々に施設を利用していただくことにより、施設運営の効率化が図られるとともに、施設の賑わいが生まれるという効果が見込まれます。世代の垣根を超えた利用が可能となる施設整備に努めます。</p>
13	<p>(施設の新設の要望) 「ランニングコストをおさえる施設」 施設のネーミングライツを地元企業に契約してもらい、宣伝と施設収入を兼ねたWIN-WINの関係を築く。</p>	<p>「第3章 5再配置・機能維持方策」にて、「公民連携の検討」を推進することとしています。現在、行政が担っているサービスについても、民間活力、民間資金の導入を検討し、ネーミングライツなども含め、あらゆる手法を活用します。</p>
14	<p>氷見市にテニスコートを作ってください。氷見市のテニスコートにてサークル活動を行いたいと考えております。社会人テニスサークルを運営するにあたって、活動拠点にはいろいろなメリットがあります。 (例) ・スポーツ競技人口の増加（健康維持に貢献） ・出会いの場の提供（カップルやサークル内で結婚するメンバーが増えます） ・テニス後の飲み会、打ち上げ実施による近隣施設の飲食店利用（税収UP・地域活性化） ・交流試合、合宿等により、他市、他県の競技者を呼び込むことができる 私が活動しているテニスサークルでは、氷見市在住のメンバーも何人かおられますが、氷見市ではなく、富山大学高岡キャンパスのテニスコートをメインにサークル活動を行っております。テニスサークルとして成り立たせるためには、天狗林の立地は不適切だからです。やむを得ず、高岡を拠点に活動しております。メンバーも随時増えておりますが、氷見市ではなく、高岡の税収や競技人口に対して貢献していることに違和感を感じております。 氷見市はハンドボールに力を入れており、それに対して反対するわけではありませんが、大人になってから、指導者としてではなく、趣味でハンドボールを続けているメンバーは少ないでしょう。テニスは大人になってから始める人も多く、高齢になっても楽しめるスポーツです。何十年も見据えても、テニスコートが不要になることはないでしょう。 また、私自身、氷見市でのテニスの練習会に参加することがあります。冬季の間は、体育館で活動しておりますが、本来は体育館でするスポーツではないため、専用のコートでの活動が望ましいです。春～秋の間は、高岡で練習会が実施されています。本当はみんな氷見で練習したいと思っていますのです。 冬季も活動できることを考えると、屋根付きのテニスコート施設を希望します。予算上難しい場合は、せめて夜間活動できるように証明付きがよいと思います。立地は、旧朝日丘小学校か旧氷見市民病院がよいと考えておりますが、ご検討願います。</p>	<p>今後の施設整備については、「第3章 3取組姿勢」及び「同4基本目標」を基礎としながら、「同 5再配置・機能維持方策」に基づき実施します。また、検討にあたっては、施設利用者等の指標の推移予測から導き出される、施設の「社会的寿命」を考慮することとしています。それぞれのサービスに対する潜在的なニーズや整備・管理に係る経費等を総合的に勘案し、整備の判断を行います。</p>